

桐鳳凰図屏風 (部分)

企画展

はなやかな屏風

平成23年4月3日(日) — 5月29日(日)

- 開館時間 9時-17時(入館受付は16時30分まで) 月曜日休館(ただし5月2日は開館します)
- 入館料 一般300円 高校生200円 小・中学生無料、友の会会員無料
障害者手帳提示の方・付添者・引率者 無料 団体(20名様以上)、シルバーカード提示の方等 2割引
- 主催 財団法人 林原美術館
- 後援 岡山県郷土文化財団 山陽新聞社 NHK岡山放送局 RSK山陽放送
- ギャラリートーク 毎週土曜日 14時から(ただし4月23日(土)はスペシャルギャラリートークを開催します。)

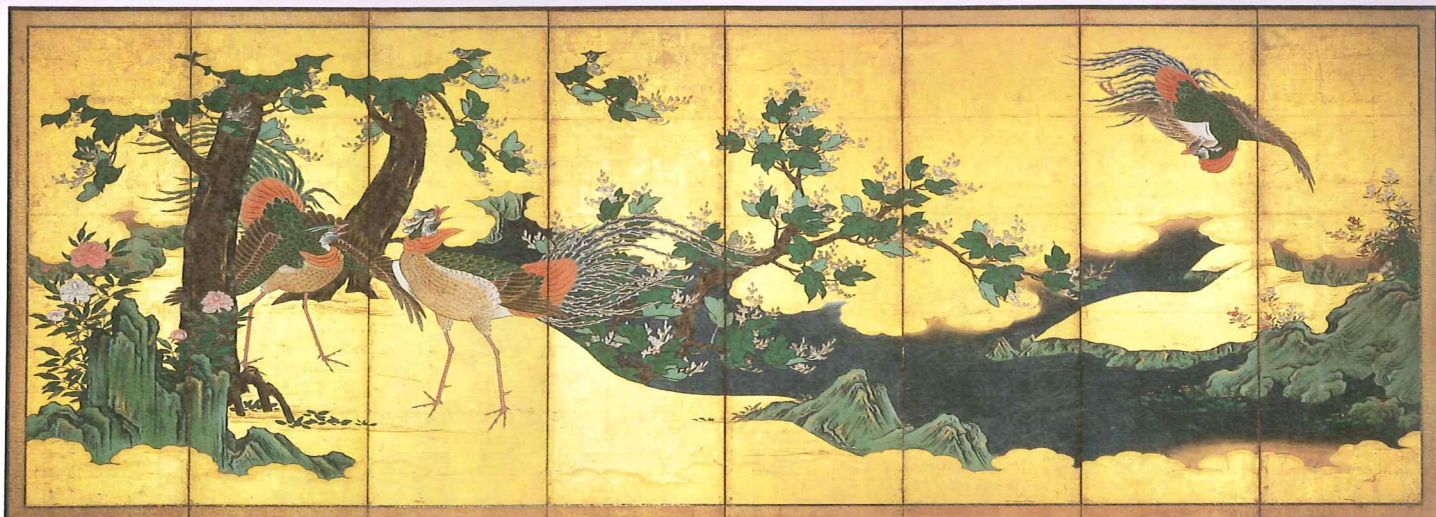
竹園屏風 (部分)



林原美術館

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15 TEL(086)223-1733
<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

企画展 はなやかな屏風



桐鳳凰図屏風(左隻)

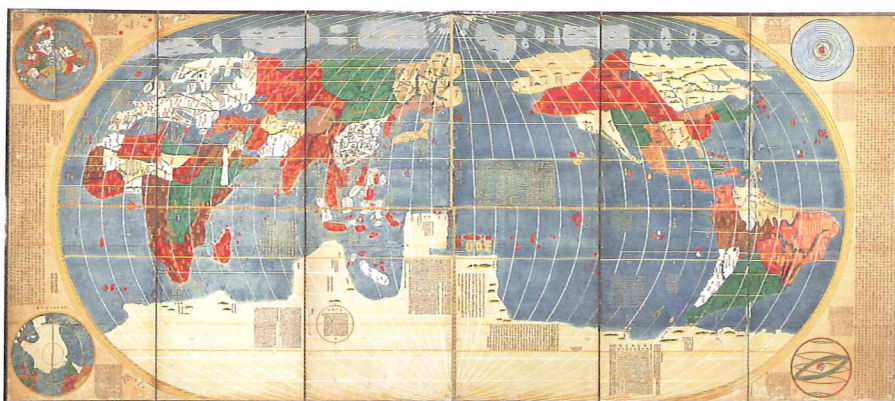
屏風は日本の邸宅を飾る大切な道具です。もともとは貴族の邸宅で文字通り「風を^{よぶ}屏ぐ」ために使用されていましたが、建築様式が変化していったことにより、特に室町時代以降になると部屋の装飾が主な用途となりました。そのため、部屋の用途や注文主の目的に応じたさまざまな画題が求められ、描かれていくようになったのです。

本展では館蔵の屏風から、江戸時代に中国を中心として描かれた珍しい世界図である坤輿万国全図屏風をはじめ、その目出たさから好んで制作された松竹梅図、近世初期の狩野派による桐鳳凰図屏風や、狩野永徳の影響を受けた絵師が江戸時代前期に描いたダイナミックな唐獅子図屏風など、晴れがましい華やかな屏風を中心に展示します。

近世の人々がみたはなやかな屏風の世界をたのしんでいただければと思います。



梅花図屏風(左隻)



坤輿万国全図屏風

林原美術館

HAYASHIBARA MUSEUM OF ART

〒700-0823 岡山市北区丸の内2-7-15 TEL(086)223-1733 FAX(086)226-3089

<http://www.hayashibara-museumofart.jp>

* 車椅子対応の設備あります。

交通/JR岡山駅から徒歩25分/路面電車[東山行]県庁前下車徒歩7分

岡電バス[岡電高屋行]県庁前下車徒歩3分

宇野バス[瀬戸駅前・四御神行]県庁前下車徒歩3分



次回予告

企画展

「中国の工芸—陶磁器・七宝・ガラス—」

平成23年6月10日(金)~8月15日(月)

館蔵品の中から中国の陶磁器や七宝類、ガラス工芸品などの「器物」を中心に展示します。古くは後漢時代の青銅器から清代の陶磁器や七宝焼にいたるまでの様々な形のうつわをご覧ください。特に七宝焼は乾隆帝時代のもと考えられ、その豪華さは、清王朝往時の華やかな時代を彷彿とさせます。